

加藤政務次官の第 41 回 IAEA 総会出席等について

平成 9 年 10 月  
原 子 力 局

1. 日程

9 月 29 日 (月) IAEA 総会政府代表演説

要人との会談

ブリックス事務局長、エルパラダイ事務局長補、韓科学技  
術処大臣、ベニヤ米国エネルギー省長官、デスカタ仏国原子  
力庁長官

2. 出席者

(政府代表) 加藤科学技術政務次官、池田在ウィーン国際機関日本政府代表部大使

(政府代表代理) 阿部外務省軍備管理・科学審議官、結城長官官房審議官

(政府代表顧問) 田畑原子力委員

(代表随員) 瀬山国際協力・保障措置課長 他

3. 政府代表演説概要

(1) 橋本総理からのメッセージ

(2) 新旧事務局長への感謝とお祝いの弁

(3) 40 周年への祝辞

を述べた後、

(4) ①エネルギー需給及び地球環境問題と原子力との関わり、

②軍縮の促進と核不拡散体制の強化

③原子力の平和利用と安全確保

等への我が国の取組姿勢等について演説するとともに、

(5) 我が国が、国民の理解を得つつ、今後とも核燃料サイクル政策を進めていく旨表明。

4. 要人との会談概要

(1) ブリックス IAEA 事務局長

① 我が方より、今後とも IAEA の活動に協力していく旨発言。先方より、我が国に  
対するこれまでの積極的貢献を評価、感謝している旨発言。

② その他、原子力と環境問題、PA、日本の原子力政策、「93+2 計画」、解体核  
兵器等について発言、意見交換があった。

## (2)エルバラダイ IAEA 事務局長補

- ①我が方より、事務局長就任を歓迎し、今後の活躍を期待し協力していく旨発言。先方より、先般の訪日で日本の原子力政策、活動に対する理解が深まった旨発言があったほか、今後とも IAEA の活動に対する協力要請がなされた。
- ②その他、日本の原子力政策、アジア協力、P A、「93+2計画」、財政的・人的貢献等について発言、意見交換があった。

## (3)韓科学技術処大臣

- ①我が方より、アジア地域における原子力協力の重要性を指摘し、「アジア原子力安全ソウル会議」に対し積極的に協力を行っていく旨発言。
- ②先方より、ソウル会議に対する日本の支援・協力の要請、両国がアジアの原子力先進国としての指導的役割を果たすことの必要性、KEDO に対する日本の協力に対する感謝等について言及。
- ③その他、IAEA 理事会の構成等について発言、意見交換があった。

## (4)ペーニャ米国エネルギー省 (DOE) 長官

- ①我が方より、我が国の原子力政策や原子力を巡る国際問題に対する取組について言及し、日米間の協力関係の維持発展が重要である旨言及。
- ②先方より、日本の CTBT 批准に祝意を表するとともに、米国としても、鋭意批准に向けて努力していること、「93+2計画」に対する米国の検討状況等について言及。
- ③その他、KEDO、原子力損害賠償、原子力安全規制等について発言、意見交換があった。

## (5)デスカタ仏国原子力庁長官

- ①我が方より、類似の原子力活動を行っている国同士として、今後とも両国の協力関係の維持発展の重要性について言及。
- ②先方より、スーパーフェニックスについては安全性ではなく経済的理由から放棄したものであり、仏国の原子力利用、再処理政策は不変であること、また、MOX やガラス固化体の輸送が遅延することなく計画通りに行われることが重要である旨言及があり、更に引き続きこれまでの協力関係を維持強化することの期待表明がなされた。
- ③その他、「使用済燃料の管理の安全及び放射性廃棄物の管理の安全に関する合同条約」、解体核兵器等について発言、意見交換があった。